



前書き

去る8/7・8と東京・大阪にてSUMMER SONIC 2010（以下：サマソニ）が開催されました。今回、東京の両日に参加をしてきましたので、ライブレポートをしたいと思います。今回、サマソニ側がtwitterとのコラボを行っていたので、それにのっかる形で会場で観たアーティストの感想を書いていました。

これはそれに加筆・修正を加えたものです。

もし、よろしければ日々の眩きは（<http://twitter.com/kagaykimihiko>）で行っていますので、フォローしていただける方がいらっしゃいましたらフォローしていただけると嬉しいです。

では、前置きが長くなりましたので、さっさとレポートに行きましょう。

NEXT → coldrain

coldrain (マウンテンステージ)

彼らが登場する前からマウンテンステージ前方には人が大分集まっており、始まる直前には前方ブロックがほぼ埋まり、後方にも人が居る、という状況に。

オープニングアクトでこれだけの数を集められるってことは、やはりそれだけ彼らの人気が上がってきているのだという認識をしました。

本編のライブでは、最初少し動きが硬かったように思えましたが、後半慣れてくると常に責めのステージングに。途中ベースにトラブルがあったようですが、それでもいい流れを損なわずにライブを続けられたのはやはり彼らの実力があるからだと思いました。

ただ、最後の方でヴォーカルの叫びが若干落ちてしまったのは残念でした。しかし、観客はそれを気にせずモッシュに興じており、彼らの楽曲の完成度の高さを再認識した次第。ちなみに、朝(10:00)で、しかもまだサマソニ本編始まっていません(笑)

NEXT → FACT

FACT (マリンスタージ)

昨年のオープニングアクトから、メインの時間、しかも朝のマリンスタジアムの一発目を担当することになったFACT。観客の多さから観ても、彼らの人気高さが伺えました。

朝のマリンを大分埋めつつ、その大半がシンガロングしてハンドクラップする姿は恐ろしい程に美しかったです。ただ、贅沢言えば屋内3番手くらいで観たかった。最初だからっていうのと、マリンスタジアムの音の反響さ加減がFACTには合ってなかったように思われます。始めの曲の音がバランス取れてなかったので、曲の魅力が半減。しかし、後半に音の調子も大分よくなり、そこから盛り返し、最後は「a fact of life」で綺麗に締めてくれました。

NEXT → Northern19 (アイランドステージ)

Northern19 (アイランドステージ)

Northern19

アイランドステージをほぼ満員にしたNorthern19。私自身はこのバンドのCDを一枚だけしか持ってないのですが、それでも十分に楽しめました。MC 少な目のまさに『音楽で勝負』なバンド。疾走するグルーブに乗る切ないヴォーカルに終始やられっぱなしのステージでした。最後に巨大なモッシュピットが出来ていたのも印象的でした。

NEXT → TOTALFAT (アイランドステージ)

TOTALFAT (アイランドステージ)

Northern19が終わった後も大半の人が残るだろうと思っていましたが、そうでもなく、入れ替わりの状態。しかし彼らもアイランドステージをほぼ埋めていました。

一曲目から観客のテンションを最高潮にして、最初から最後までモッシュ・ダイブの嵐。4月のパンクスプリング名古屋で見た時よりも音が良くなってるように思いました。また、テンポが速いだけの曲だけではなく、少しテンポの遅い曲もやれて、しかもそれがTOTALFATの音になっているのが凄く良かったです。

また、途中の「2000年、僕等はサマソニを客として観てました。でも、今ここに立っています。夢は、信じてそれを続ければ叶います。それを、僕等が証明しました。だから、皆にも出来る筈です」というMCには何だか心にくるものがありました。上辺だけじゃない、リアルな言葉だと私は思います。

TOTALFATの音楽性の多種多様さを味わえた時間で御座いました！

NEXT → KREVA (マリンステージ)

KREVA (マリンステージ)

「ご飯食べるついでに観ようかな」ぐらいの認識でマリンスタジアムの座席に座って観ていたのですが、時折俺の箸が止まるぐらいにいいステージでした。正直に言えば僕はKREVAさんの音楽をちゃんと聴いたことないですし、ヒップホップ自体もあまり聴きません。しかし、彼のステージに溢れる彼の『自信』が曲にリアリティを持たせているような気がしました。ちなみに彼のMCで「KREVA知らない奴、大丈夫。適当に合わせて知ってるフリしとけば大丈夫だから」って言葉に、彼の謙虚さを感じました。

NEXT → 矢沢永吉 (マリンステージ)

矢沢永吉（マリンステージ）

名前は知ってるけど、曲知らない。って人が多そうな矢沢永吉。かくいう僕も曲を知らなかったのですが、サマソニに出ると知って何曲か聴きました。いやね、これがかっこ良かったんですよ。もう60歳のおっさんがこれだけ暴れることが出来る、しかも、どんな台詞を吐いても、どんな行動をしてもリアリティがある、そこに『矢沢』らしさが出る。これ、単純に凄いことです。楽曲自体はRolling Stonesのような8ビートを基調とした純粋なロックンロール。しかし、ギターソロに『日本的』な音が入っていて、それまた凄いと思った次第。

途中のMCで「ロックンロールに感謝しようぜ！」と言ってましたが、それを言えるのは多分日本でこの人ぐらいでしょう。

あと、ファン以外でも知ってるタオル投げでは、観客大盛り上がりで嬉々としてタオルを空に舞わせていました。多くの色とりどりのタオルが宙を舞う姿は恐ろしい程に美しかった。

NEXT → 30 Seconds To Mars（マウンテンステージ）

30 Seconds To Mars (マウンテンステージ)

サマソニ07にて来日し、今回の参加で2度目となる30 Seconds To Mars。個人的に去年出たアルバム「THIS IS WAR」が良かったので、もう一度観ることに。(ちなみにサマソニ07で筆者は1回観ています)

一曲目が始まり、ライトに照らされたヴォーカル：ジャレット・レトの風貌はどう考えても北斗の拳の「汚物は消毒だ〜」の人にそっくり。モヒカンに鉤着きの肩パッド。曲に入る前に笑いました。しかも後ろ髪にエクステみたいな物をつけてたので、それがゴジラの背びれみたいに見えて、ジャレットがモンスターに見えました。ロックンロールモンスター、カッコイイですね。観客から英語訳せる人間をステージに上げたり、終いには「お前らもっとステージに来い」と煽ってステージを観客で一杯にするというステージをやったのけ、嵐の様に去っていきました。音としては、声もよく出るし、演奏事態も問題はないのですが、如何せん客に歌わせるパートが多い。LOUD PARK 08でのモトリークルーのヴィンス・ニールばりに歌わせているので、そこが少し残念でした。俺はもっとレト様の声が聴きたいのですよ—————！！！！！！(筆者は男です)

NEXT → NICKELBACK (マリンステージ)

NICKELBACK (マリンステージ)

個人的には「やっとサマソニ参戦か……」と思えるぐらい、待ち焦がれていたバンド。今年行われた来日公演の後に「何で俺、日本来てなかったんだろう」とヴォーカルのチャドクルーガーが言ってたみたいですが、個人的には「だったら毎年来てくれよ！」と言いたくなります。どれだけ日本のファンは待ったことやら。

私自身、3rdアルバムより彼らの音に触れていますが、毎回音自体に大した変化はないのですが、音のレベルがどんどん上がっていくので、安心して聴けるバンドなんですよ。これがライブになるとどうなるのか？

答え：逆に強力なぐらいのグルーブを発生させます。

チャドクルーガーの声もブレなく出てますし、何よりもあのCDで聴いた音よりも強力な音でそれを聴かせてくれるっていうのですから、文句のつけようがないです。逆に完璧すぎて疑うぐらいのライブでした。

NEXT →A-HA (ソニックステージ)

A-HA (ソニックステージ)

2010年いっぱい解散を表明しているA-HA。日本での最終公演がこのサマソニ2010となります。正直なところ、曲も「Take On Me」しか知りませんし、古い音しか出さないんだらうな〜ぐらいにしか思っていなくて、あまり期待せずに行ったのですが、これがまた凄いこと凄いこと。

ソニックステージはA-HAの力で時代を超えていました。

ポップな音の美味しい所を凝縮したような音楽に身を任せるだけで、もうそこは別次元。

それだけでも堪らないのに、途中の曲で観客の大合唱が発生して、涙が出そうに。言語を超えて音楽ってものが通じた瞬間でした。

そして、ラストのラストに持ってきた曲が「Take On Me」ここで持ってくるのが流石の一言ですよ。ベタだよ、ベタだけど、これは皆が望んでいるベタなんですよ。

つつい体を動かしちゃう名曲と共にステージが終わり、観客の大きな大きな拍手を持って、A-HAは東京での最終公演を終えました。

NEXT → Pendulum (ソニックステージ)

Pendulum (ソニックステージ)

踊れるロック！を体現するバンド、Pendulum。どんなバンドなのかと思ってLIVE映像を観た次の日にはCD屋に走るようになってました（笑）。

スクリーンに映し出された人間の血管と内臓（CG作成）が少しずつ金属に変わり、サイボーグのような体になったところで、心臓が動き始める。心臓のマークはアルバム「イン・シリコ」のジャケット絵。その鼓動が激しくなった瞬間に、メンバー登場。

失禁するかと思うぐらいにニクイ演出でした。

ちなみにその後もそのスクリーンに色々と映像が流れていたのですが、これがまた曲に合わせてカッコいい。それに、発想がブツ飛んでる。蜘蛛に機械のアームが付いてたり、ゴキブリが逆さまになって暴れてるシーンを写したり。でもそれがカッコいい。恐ろしい。

音の方はCD通りの音を奏でつつ、MCが会場を盛り上げます。MCいないと魅力半減する気がします。僕としてはMCの「スクリーーーーーーム」が聴けたので大満足でした。

NEXT → Smashing Pumpkins (マウンテンステージ)

Smashing Pumpkins (マウンテンステージ)

オリジナルメンバーだったドラマーも抜けてほぼビリー・コーガンのソロプロジェクトと化しているスマパンですが、個人的には良かったです。轟音の中にある綺麗なメロディと、ビリーのあの癖のある声、そして、時折訪れる激情のような行動と、音。素晴らしいです。

あまり曲は知りませんが、「tonight,tonight」「DOOMSDAYCLOCK」が生で聴けて嬉しかった。

NEXT → ATARI TEENAGE RIOT (ソニックステージ)

ATARI TEENAGE RIOT (ソニックステージ)

再結成ATARI TEENAGE RIOTサマソニ参戦！のニュースを見た時は、マジかよ！と思わず声に出してしまいました。

しかし、正直にいうとCD一枚も持っておらず、曲も少し前に「RAGE」を聴いただけだったので、合わなかったらすぐに帰ろうと思ってました。

ですが、ステージ始まった瞬間からのあのテンションの高さ、そして、心臓を鷲掴みにして話さない叫び声。魂が震えました。

彼らの音ってそこまで多くないし、メロディも少ないんですよ。だから、その分声とかステージグがしょぼいとテンションなんて下がってしまうのですが、徹頭徹尾テンション下がらず。むしろ衝撃を受けたまま動けず。脳みその常識を全部引っくり返されました。

最後の曲で旗を振りながら叫ぶMCのアレックが無茶苦茶印象に残っています。

／SUMMER SONIC 2010 8/7終了